

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／債券	
信託期間	約5年間（2014年3月31日～2019年3月22日）	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドの受益証券
	ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ. 投資対象は、主として海外企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。</p> <p>ロ. 流動性を確保するため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての国債、州債およびコマーシャル・ペーパー等に投資することがあります。</p> <p>ハ. 債券の格付けは、取得時においてBBB格相当以上（ムーディーズでBaa3以上またはS&PでBBB-以上もしくはフィッチでBBB-以上）とします。</p> <p>ニ. 金利リスク対応のため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての債券先物取引を利用することがあります。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>※ベビーファンド「為替ヘッジあり」においては、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	<p>分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれが多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ外貨建て海外社債ファンド 2014-03 (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版) 第9期 (決算日 2018年9月25日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）」は、このたび、第9期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<2680>
<2681>

為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	公社債 組入比率	債券先物 比率	元本 残存率
	(分配落)	税 分 配	込 み 金	期 騰 落 額				
設 定 (2014年 3月31日)	円 10,000	円 —	円 —	円 —	% —	% —	% —	% 100.0
1 期末 (2014年 9月22日)	10,140	110	250	2.5	5.2	101.8	—	98.6
2 期末 (2015年 3月23日)	10,237	160	257	2.5	5.2	98.0	—	72.0
3 期末 (2015年 9月24日)	9,950	100	△ 187	△ 1.8	2.2	96.4	—	66.2
4 期末 (2016年 3月22日)	9,908	100	58	0.6	1.9	94.8	—	57.8
5 期末 (2016年 9月23日)	10,057	120	269	2.7	2.6	92.8	—	50.7
6 期末 (2017年 3月22日)	9,718	100	△ 239	△ 2.4	1.4	95.7	—	47.3
7 期末 (2017年 9月22日)	9,791	100	173	1.8	1.7	98.1	—	38.4
8 期末 (2018年 3月22日)	9,431	100	△ 260	△ 2.7	0.8	94.8	—	36.2
9 期末 (2018年 9月25日)	9,226	100	△ 105	△ 1.1	0.5	99.3	—	27.9

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

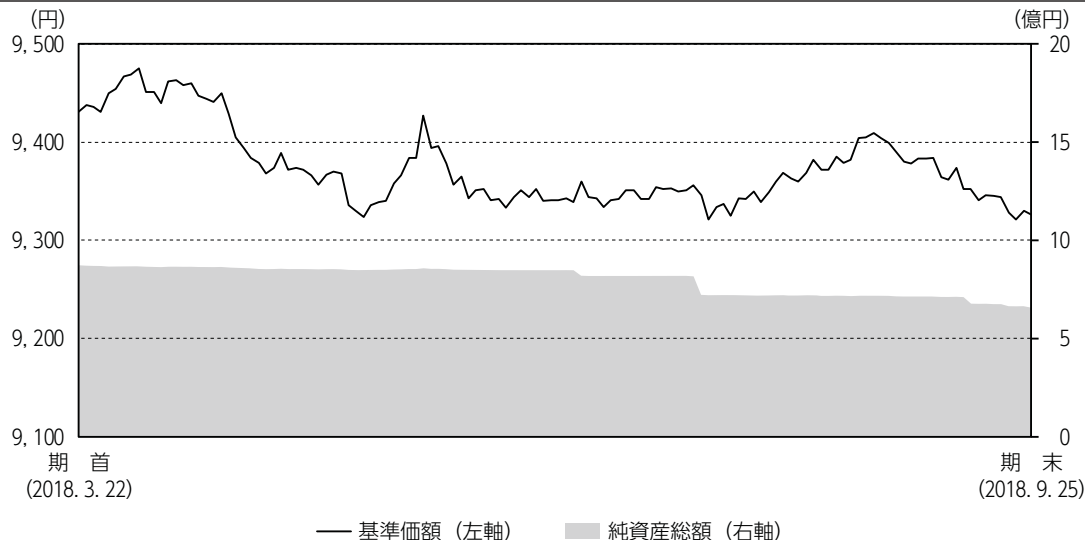
(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,431円

期末：9,226円 (分配金100円)

騰落率：△1.1% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を通じて、主として海外企業が発行する外貨建ての社債に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行なった結果、保有債券からの利息収入はプラスに寄与しましたが、社債金利の上昇（債券価格の下落）などを反映し、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03 (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2018年 3月22日	9,431	—	94.8	—
3月末	9,467	0.4	95.6	—
4月末	9,374	△ 0.6	98.5	—
5月末	9,394	△ 0.4	98.0	—
6月末	9,344	△ 0.9	96.9	—
7月末	9,342	△ 0.9	97.6	—
8月末	9,383	△ 0.5	98.1	—
(期 末) 2018年 9月25日	9,326	△ 1.1	99.3	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018. 3. 23 ~ 2018. 9. 25）

海外債券市況

海外債券市況は、米国では国債金利が上昇する一方で、オーストラリアでは国債金利は低下しました。

期首より、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどを背景に金利は上昇傾向となったものの、2018年5月後半に入ると、イタリアの政治情勢に対する懸念が高まり、金利は急速に低下しました。その後は、イタリアの政治情勢への懸念が和らいだことを背景に、金利は反発しました。6月以降は、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で利上げが実施されたことや雇用統計で賃金上昇率が予想以上の伸びになりインフレ率の上昇が懸念されたことを背景に、米国の国債金利は上昇しましたが、オーストラリアの国債金利は米中貿易摩擦への懸念やインフレ率が軟調な結果になったことなどを受けて、低下しました。

こうした環境下、米ドルや豪ドルなど外貨建ての社債については、期首より市場のリスク回避姿勢が強まったことを背景に、2018年6月にかけてスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大したものの、その後は反転し、期末にかけて縮小圧力が強まる展開となりました。

前期における「今後の運用方針」

当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてBBB格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

ポートフォリオについて

（2018. 3. 23 ~ 2018. 9. 25）

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。業種別では、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオ構成を維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は100円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における経費控除後の配当等収益が10,545,919円であり、純資産額の元本超過額がないため、経費控除後の配当等収益10,545,919円（1万口当り148.05円）を分配対象額として、うち7,122,840円（1万口当り100円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてB B B格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 3. 23~2018. 9. 25)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	66円	0.705%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,373円です。
（投信会社）	(26)	(0.277)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(39)	(0.415)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.018	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	68	0.723	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年3月23日から2018年9月25日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	—	—	205,402	241,300

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	760,781	555,378	662,566

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年9月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	662,566	96.4
コール・ローン等、その他	24,653	3.6
投資信託財産総額	687,220	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の中値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月25日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.02円、1オーストラリア・ドル=82.05円です。

(注3) ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(830,129千円)の投資信託財産総額(832,415千円)に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,328,641,408円
コール・ローン等	24,653,785
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド(評価額)	662,566,845
未収入金	641,420,778
(B) 負債	671,463,724
未払金	659,583,704
未払収益分配金	7,122,840
未払信託報酬	4,723,979
その他未払費用	33,201
(C) 純資産総額(A-B)	657,177,684
元本	712,284,074
次期繰越損益金	△ 55,106,390
(D) 受益権総口数	712,284,074口
1万口当り基準価額(C/D)	9,226円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,226円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は55,106,390円です。

■損益の状況

当 期 自2018年3月23日 至2018年9月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,928円
受取利息	1
支払利息	△ 1,929
(B) 有価証券売買損益	△ 21,480,195
売買益	40,648,247
売買損	△ 62,128,442
(C) 有価証券評価差損益	18,185,151
(D) 信託報酬等	△ 5,690,215
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 8,987,187
(F) 前期繰越損益金	△ 52,693,784
(G) 解約差損益金	13,697,421
(H) 合計(E+F+G)	△ 47,983,550
(I) 収益分配金	△ 7,122,840
次期繰越損益金(H+I)	△ 55,106,390

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	100円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	公社債 組入比率	債券先物 比率	元本 残存率
	(分配落)	税 分 配	込 み 金	期 騰 落 額				
設 定 (2014年 3月31日)	円 10,000	円 —	円 —	円 —	% —	% —	% —	% 100.0
1 期末 (2014年 9月22日)	10,587	135	722	7.2	15.0	97.3	—	99.1
2 期末 (2015年 3月23日)	11,325	165	903	8.5	16.6	96.5	—	88.4
3 期末 (2015年 9月24日)	10,771	175	△ 379	△ 3.3	8.4	98.0	—	27.0
4 期末 (2016年 3月22日)	10,193	160	△ 418	△ 3.9	4.2	95.2	—	23.0
5 期末 (2016年 9月23日)	9,495	100	△ 598	△ 5.9	0.9	92.8	—	22.1
6 期末 (2017年 3月22日)	10,211	130	846	8.9	3.6	97.3	—	20.5
7 期末 (2017年 9月22日)	10,467	140	396	3.9	4.2	97.6	—	17.8
8 期末 (2018年 3月22日)	9,545	100	△ 822	△ 7.9	1.6	96.5	—	17.5
9 期末 (2018年 9月25日)	9,975	100	530	5.6	2.6	98.0	—	16.7

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

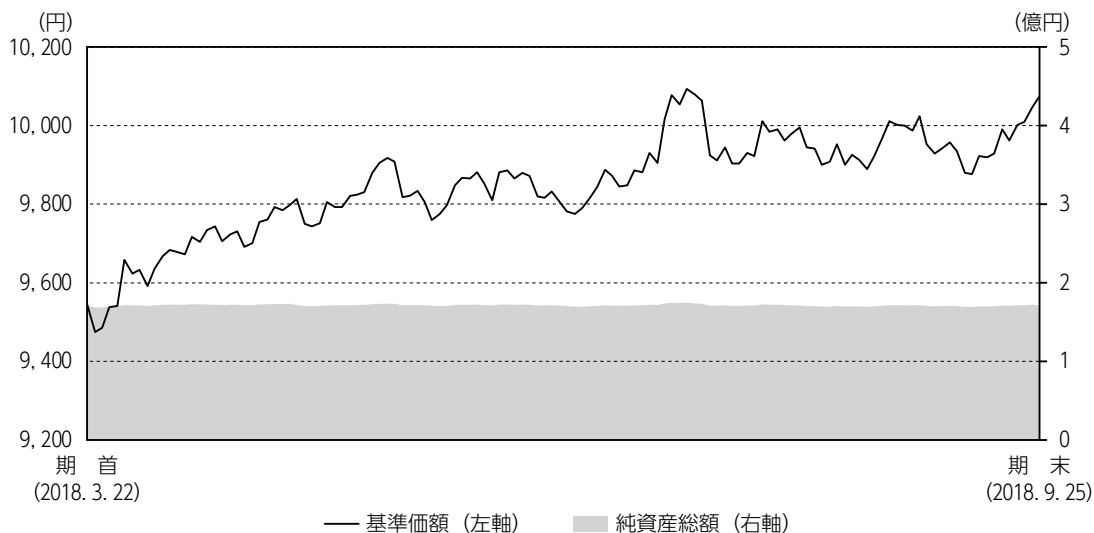
(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,545円

期末：9,975円（分配金100円）

騰落率：5.6%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を通じて、主として海外企業が発行する外貨建ての社債に投資した結果、社債金利の上昇（債券価格の下落）はマイナス要因となったものの、保有債券からの利息収入や米ドルが対円で上昇したことなどを反映し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03 (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2018年 3月22日	9,545	—	96.5	—
3月末	9,623	0.8	95.9	—
4月末	9,784	2.5	96.8	—
5月末	9,775	2.4	97.9	—
6月末	9,843	3.1	96.5	—
7月末	9,923	4.0	97.3	—
8月末	9,953	4.3	98.4	—
(期 末) 2018年 9月25日	10,075	5.6	98.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018. 3. 23 ~ 2018. 9. 25）

■ 海外債券市況

海外債券市況は、米国では国債金利が上昇する一方で、オーストラリアでは国債金利は低下しました。

期首より、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどを背景に金利は上昇傾向となったものの、2018年5月後半に入ると、イタリアの政治情勢に対する懸念が高まり、金利は急速に低下しました。その後は、イタリアの政治情勢への懸念が和らいだことを背景に、金利は反発しました。6月以降は、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で利上げが実施されたことや雇用統計で賃金上昇率が予想以上の伸びになりインフレ率の上昇が懸念されたことを背景に、米国の国債金利は上昇しましたが、オーストラリアの国債金利は米中貿易摩擦への懸念やインフレ率が軟調な結果になったことなどを受けて、低下しました。

こうした環境下、米ドルや豪ドルなど外貨建ての社債については、期首より市場のリスク回避姿勢が強まったことを背景に、2018年6月にかけてスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大したものの、その後は反転し、期末にかけて縮小圧力が強まる展開となりました。

■ 為替相場

米ドルは対円で上昇し、豪ドルは対円でおおむね横ばいとなりました。

期首より、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどを背景に米ドルおよび豪ドルは対円で上昇しましたが、2018年5月後半は、イタリアの政治情勢に対する懸念から円高圧力が一時強まりました。その後は、FOMCにおいて利上げの加速が示唆されたことや株価が堅調に推移したこと、米国金利の上昇などから、米ドル円は上昇する動きとなったものの、豪ドル円は米中貿易摩擦懸念などを背景に下落しました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れます。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてB B B格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

ポートフォリオについて

（2018. 3. 23 ~ 2018. 9. 25）

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。業種別では、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオ構成を維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は100円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における経費控除後の配当等収益2,704,781円が、純資産額の元本超過額1,283,970円を超過しているため、経費控除後の配当等収益2,704,781円（1万口当り157.97円）を分配対象額として、うち1,712,142円（1万口当り100円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れます。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてB B B格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 3. 23~2018. 9. 25)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	70円	0. 705%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 853円です。
(投 信 会 社)	(27)	(0. 277)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0. 415)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0. 017	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	71	0. 723	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2018年3月23日から2018年9月25日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	—	—	8,920	10,380

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	151,300	142,380	169,859

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年9月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	169,859	97.8
コール・ローン等、その他	3,836	2.2
投資信託財産総額	173,695	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月25日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝113.02円、1オーストラリア・ドル＝82.05円です。

（注3）ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（830,129千円）の投資信託財産総額（832,415千円）に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	173,695,729円
コール・ローン等	3,836,331
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド（評価額）	169,859,398
(B) 負債	2,909,668
未払収益分配金	1,712,142
未払信託報酬	1,190,506
その他未払費用	7,020
(C) 純資産総額（A－B）	170,786,061
元本	171,214,233
次期繰越損益金	△ 428,172
(D) 受益権総口数	171,214,233口
1万口当り基準価額（C/D）	9,975円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,975円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は428,172円です。

■損益の状況

当期 自2018年3月23日 至2018年9月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 107円
支払利息	△ 107
(B) 有価証券売買損益	1,459,862
売買益	1,459,862
(C) 有価証券評価差損益	9,035,857
(D) 信託報酬等	△ 1,215,562
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	9,280,050
(F) 前期繰越損益金	△ 8,139,856
(G) 解約差損益金	143,776
(H) 合計（E＋F＋G）	1,283,970
(I) 収益分配金	△ 1,712,142
次期繰越損益金（H＋I）	△ 428,172

（注1）有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

（注2）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注3）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注4）収益分配金の計算過程は15ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	100円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

運用報告書 第9期 (決算日 2018年9月25日)

(計算期間 2018年3月23日～2018年9月25日)

ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドの第9期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
運用方法	<p>①主として、海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ. 投資対象は、主として海外企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。</p> <p>ロ. 流動性を確保するため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての国債、州債およびコマーシャル・ペーパー等に投資することがあります。</p> <p>ハ. 債券の格付けは、取得時においてBBB格相当以上（ムーディーズでBaa3以上またはS&PでBBB-以上もしくはフィッチでBBB-以上）とします。</p> <p>ニ. 金利リスク対応のため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての債券先物取引を利用することがあります。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

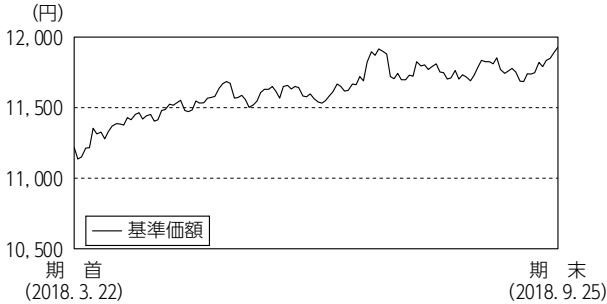
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準価額		公社債 組入 比率	債券 先物 比率
	円	%		
(期首) 2018年 3月22日	11,219	—	96.9	—
3月末	11,315	0.9	96.4	—
4月末	11,518	2.7	97.2	—
5月末	11,522	2.7	98.2	—
6月末	11,615	3.5	96.7	—
7月末	11,724	4.5	97.3	—
8月末	11,773	4.9	98.3	—
(期末) 2018年 9月25日	11,930	6.3	98.5	—

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
 (注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,219円 期末：11,930円 騰落率：6.3%

【基準価額の主な変動要因】

主として海外企業が発行する外貨建ての社債に投資した結果、社債金利の上昇(債券価格の下落)はマイナス要因となったものの、保有債券からの利息収入や米ドルが対円で上昇したことなどを反映し、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○海外債券市場

海外債券市場は、米国では国債金利が上昇する一方で、オーストラリアでは国債金利は低下しました。

期首より、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどを背景に金利は上昇傾向となったものの、2018年5月後半に入ると、イタリアの政治情勢に対する懸念が高まり、金利は急速に低下しました。その後は、イタリアの政治情勢への懸念が和らいだことを背景に、金利は反発しました。6月以降は、FOMC(米連邦公開市場委員会)で利上げが実施されたことや雇用統計で賃金上昇率が予想以上の伸びになりインフレ率の上昇が懸念されたことを背景に、米国の国債金利は上昇しましたが、オーストラリアの国債金利は米中貿易

摩擦への懸念やインフレ率が軟調な結果になったことなどを受けて、低下しました。

こうした環境下、米ドルや豪ドルなど外貨建ての社債については、期首より市場のリスク回避姿勢が強まったことを背景に、2018年6月にかけてスプレッド(国債に対する上乗せ金利)は拡大したものの、その後は反転し、期末にかけて縮小圧力が強まる展開となりました。

○為替相場

米ドルは対円で上昇し、豪ドルは対円でおおむね横ばいとなりました。

期首より、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどを背景に米ドルおよび豪ドルは対円で上昇しましたが、2018年5月後半は、イタリアの政治情勢に対する懸念から円高圧力が一時強まりました。その後は、FOMCにおいて利上げの加速が示唆されたことや株価が堅調に推移したこと、米国金利の上昇などから、米ドル円は上昇する動きとなったものの、豪ドル円は米中貿易摩擦懸念などを背景に下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてBBB格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

◆ポートフォリオについて

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。業種別では、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオ構成を維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてBBB格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

ドイツ外貨建て海外社債マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合 計	1

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年3月23日から2018年9月25日まで)

		買 付 額		売 付 額	
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル 962	千アメリカ・ドル 1,706 (529)	
	オーストラリア	社債券	千オーストラリア・ドル —	千オーストラリア・ドル 837 (—)	

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年3月23日から2018年9月25日まで)

当 期		期 末	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
JPMorgan Chase & Co (アメリカ) 3.782% 2028/2/1	千円 54,041	Bank One Corp (アメリカ) 7.75% 2025/7/15	千円 66,139
Macquarie Group Ltd (オーストラリア) 3.763% 2028/11/28	50,321	Wells Fargo & Co (アメリカ) 4.125% 2023/8/15	33,422
		GlaxoSmithKline Capital PLC (イギリス) 2.85% 2022/5/8	32,938
		Brisbane Airport Corp Pty Ltd (オーストラリア) 6% 2020/10/21	26,106
		Telefonica Emisiones SAU (スペイン) 4.57% 2023/4/27	22,859
		Santander UK PLC (イギリス) 5% 2023/11/7	22,620
		Aurizon Network Pty Ltd (オーストラリア) 5.75% 2020/10/28	17,368
		Incitec Pivot Ltd (オーストラリア) 5.75% 2019/2/21	16,598
		HOME DEPOT INC. (アメリカ) 3.75% 2024/2/15	11,500
		National Australia Bank Ltd (オーストラリア) 4.325% 2026/9/21	8,453

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

作 成 期	当 期			期 末				
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
外貨建金額		邦貨換算金額	5年以上			2年以上	2年未満	
アメリカ	千アメリカ・ドル 6,000	千アメリカ・ドル 6,053	千円 684,110	% 82.2	% —	% 61.9	% 20.2	% —
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 1,600	千オーストラリア・ドル 1,658	136,056	16.3	—	7.1	6.3	3.0
合 計	—	—	820,167	98.5	—	69.0	26.5	3.0

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ		JPMorgan Chase & Co	社債券	3.7820	千アメリカ・ドル 500	千アメリカ・ドル 485	千円 54,838	2028/02/01
		MetLife Inc	社債券	3.0000	200	190	21,538	2025/03/01
		FedEx Corp	社債券	4.9000	300	317	35,920	2034/01/15
		Macquarie Group Ltd	社債券	3.7630	500	463	52,437	2028/11/28
		FORD MOTOR CR. CO.	社債券	4.2500	500	495	56,012	2022/09/20
		Anheuser-Busch InBev Finance Inc	社債券	2.6250	300	288	32,580	2023/01/17
		Wal-Mart Stores Inc	社債券	5.8750	300	345	39,033	2027/04/05
		Verizon Communications Inc	社債券	4.1500	300	305	34,568	2024/03/15
		HOME DEPOT INC.	社債券	3.7500	100	101	11,511	2024/02/15
		CITIGROUP INC.	社債券	5.5000	500	530	59,944	2025/09/13
		Wells Fargo & Co	社債券	4.1250	200	201	22,817	2023/08/15
		GOLDMAN SACHS GROUP INC.	社債券	4.0000	500	502	56,786	2024/03/03
		BPCE SA	社債券	5.1500	500	509	57,544	2024/07/21
		RABOBANK NEDERLAND	社債券	4.6250	500	506	57,242	2023/12/01
		GlaxoSmithKline Capital PLC	社債券	2.8500	200	196	22,191	2022/05/08
		Santander UK PLC	社債券	5.0000	300	302	34,240	2023/11/07
	Telefonica Emisiones SAU	社債券	4.5700	300	308	34,902	2023/04/27	
通貨小計	銘柄数 金 額	17銘柄			6,000	6,053	684,110	
オーストラリア		National Australia Bank Ltd	社債券	4.3250	千オーストラリア・ドル 700	千オーストラリア・ドル 720	59,120	2026/09/21
		Brisbane Airport Corp Pty Ltd	社債券	6.0000	200	212	17,407	2020/10/21
		Incitec Pivot Ltd	社債券	5.7500	300	303	24,888	2019/02/21
		Aurizon Network Pty Ltd	社債券	5.7500	400	422	34,640	2020/10/28
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄			1,600	1,658	136,056	
合 計	銘柄数 金 額	21銘柄					820,167	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

■投資信託財産の構成

2018年9月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	820,167 千円	98.5 %
コール・ローン等、その他	12,247	1.5
投資信託財産総額	832,415	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月25日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.02円、1オーストラリア・ドル=82.05円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(830,129千円)の投資信託財産総額(832,415千円)に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	832,415,003円
コール・ローン等	5,014,905
公社債(評価額)	820,167,802
未取利息	7,232,296
(B) 負債	133
その他未払費用	133
(C) 純資産総額(A-B)	832,414,870
元本	697,758,796
次期繰越損益金	134,656,074
(D) 受益権総口数	697,758,796口
1万口当り基準価額(C/D)	11,930円

* 期首における元本額は912,081,210円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は214,322,414円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03(為替ヘッジあり)555,378,747円、ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03(為替ヘッジなし)142,380,049円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,930円です。

■損益の状況

当期 自2018年3月23日 至2018年9月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	22,453,025円
受取利息	22,454,050
支払利息	△ 1,025
(B) 有価証券売買損益	38,464,605
売買益	54,437,156
売買損	△ 15,972,551
(C) その他費用	△ 120,431
(D) 当期損益金(A+B+C)	60,797,199
(E) 前期繰越損益金	111,216,461
(F) 解約差損益金	△ 37,357,586
(G) 合計(D+E+F)	134,656,074
次期繰越損益金(G)	134,656,074

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。